

新

# 一代記



小林 智文さん

## “人生航路” 味で結実

### 出合いは本場・香川県

人生航路はいつだって不確かだ。時に迷い、悩み、夢を諦めることだってある。それでも立ち上がり、新たな光を見つける人もいる。小名浜の人気店「うどん 香蔵」の店主、小林智文さん（四七）。届ける一杯は、荒波を越えてきた経験が“隠し味”。

「いらつしやいませー」

のれんをくぐると、店内に響く明るいあいさつ。親しみあふれる接客に促されるように、目移りしながらメニューを選ぶ。しばらくして運ばれてくる、極上の一杯。澄んだスープ、モチモチとした太麺。つるつると食が進み、満足感に包まれる。

この味を求め、店には連日大勢の客たちが訪れる。讃岐うどんの専門店として人気を

うどん 香蔵

小林さんは地元の高校を卒業後、サラリーマンとして働いた。だが、程なく退社。二十三歳のころ、ワーキングホリデーを利用し、オーストラリアで一年間暮らした。

「もともと勤め人の気質じゃなかったんでしようね。何をすれば自分が満足できるか分からず、とにかく環境を変えれば、何かが見えてくるかもしれないと思って」

期待通り、異国での暮らしは“新風”をもたらしてくれた。同国内を一周し、異なる考え方の人々に会い、刺激を受ける日々。「魅力的な国だなあと思いましたね」。振り返る表情は、自然とほころぶ。

その経験がもたらしたのは、「オーストラリアで永住権を得たい」という思い。制度上、一番簡単な方法は、技能を身につけることだった。

製麺作業に励む小林さん。同店のうどんは太麺で、つるつる、モチモチだ



「当時はキッチンなどが共用の安宿に泊まったんですが、料理ができないとお金もたない。そこで、相部屋になった人から教わっていました。それで料理の技能を身につけようと決めたんです」

帰国すると、郡山市内の洋食店で二年間、それから和食店で七年間勤務。着実に腕を磨き、「永住」への思いを高めた。しかし、年齢は三十代半ばに。現実が頭をもたげ始めていた。

「家族に反対され、永住の夢を諦めました」

人生の苦しい時期でもあった。料理人を続ける意味が見

# 「夢」諦めた先に光

## 試行錯誤、やりがい尽きず

心を込めて一杯を届ける。「おいしいと言っても  
 伝えることが最大のモチベーション」と小林さん



### 略歴

昭和49年、小名浜生まれ。讃岐うどん専門店「うどん 香蔵」店主。うどんは自慢の自家製太麺。香川産と九州産の小麦粉をブレンドした、同店のオリジナルを使っている。

また、ジョギング歴15年のランナー。「いわきサンシャインマラソン」に何度も出場しているが、最近は「時間がなくて走れないですね」。定休日・月、火曜。営業時間・午前11時～午後3時、午後5時半～8時。

いだけなくなり、和食店を退社。地元いわきへ戻った。だが、その決断も運命を導いた。期せずして足を運んだ香川県で、讃岐うどんと出合ったからだ。

「泊まりがけで食べ歩いてみたんですよ。そうしたら本当にうまくて、衝撃でした。釜玉、ぶっかけ、生醤油……。どれも食感が違い、味わいが多彩。うどん屋をやりたい、と思うようになりましたね」  
 子育ての真っ最中だったこともあり、会社勤めをしながら機をうかがった。そして子どもが中学生になったころ、香川に一年間修業へ。四十歳が目前に迫っていた。  
 「ツテはなかったけど、製粉所に足を運んで、店の大将（経営者）を紹介してもらい、お願いして働かせてもらったんです」  
 年齢を考えれば、大胆な決断とも言えるが、回想する表情も口調も朗らか。道が決まった瞬間だった。

組み合わせ。「香川に行かずとも、多彩なおいしいうどんが食べられるように」との思いが込められている。今、船出の「逆風」をはねのけて人氣店に成長し、今年四月で開店から丸七年。試行錯誤は尽きないが、やりがいも同様だ。  
 「おいしいと言ってもらえることが最大のモチベーション。展望と言うと、志のある人が修業に来てくれたらうれしいですね。うどん屋、悪くないから」  
 いくつもの荒波を超えてきた顔つきに、充実感を漂わせた。  
 若い時は、得てして人生に迷うものだ。記者もそうだった。本や映画に答えを求め、経験が乏しいのに思想だけが膨らんでいった。  
 迷っても、夢を諦めても、年齢を重ねても、前へ進み続けた小林さん。並の苦勞ではなかったはずだが、振り返る言葉は軽やか。その人柄が、とても魅力的に思えた。

### ひと言

（鷹）

炎の陶工  
心象画家

## 月形明比古・那比古展

～燃える想念と色彩／陶芸・絵画・彫刻の世界～

■会期/令和4年2月3日(木)～15日(火)

■出品/鬼志野陶芸、志野陶芸、絵画、彫刻、書ほか小品から大作・記念作品あり

■後援・協力/月形那比古記念美術館(岐阜県土岐市)

人気作家・月形明比古展・併催月形那比古展を開催いたします。彩の表現と情熱の作品群を新春展として皆様へ展覧いたします。この機会に皆様、お友達お誘い合わせの上、ご来場下さい。



F20 早暁の赤富士



志野花入(墨象紋)

小野美術
営業時間 午前10時～午後6時  
(最終日は午後5時閉場)

いわき市平字中町22番地の2 Kビル1F ☎0246-35-0383

HP: <http://onobijutsu.jp> e-mail: [onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp](mailto:onobijutsu@sirius.ocn.ne.jp)

7